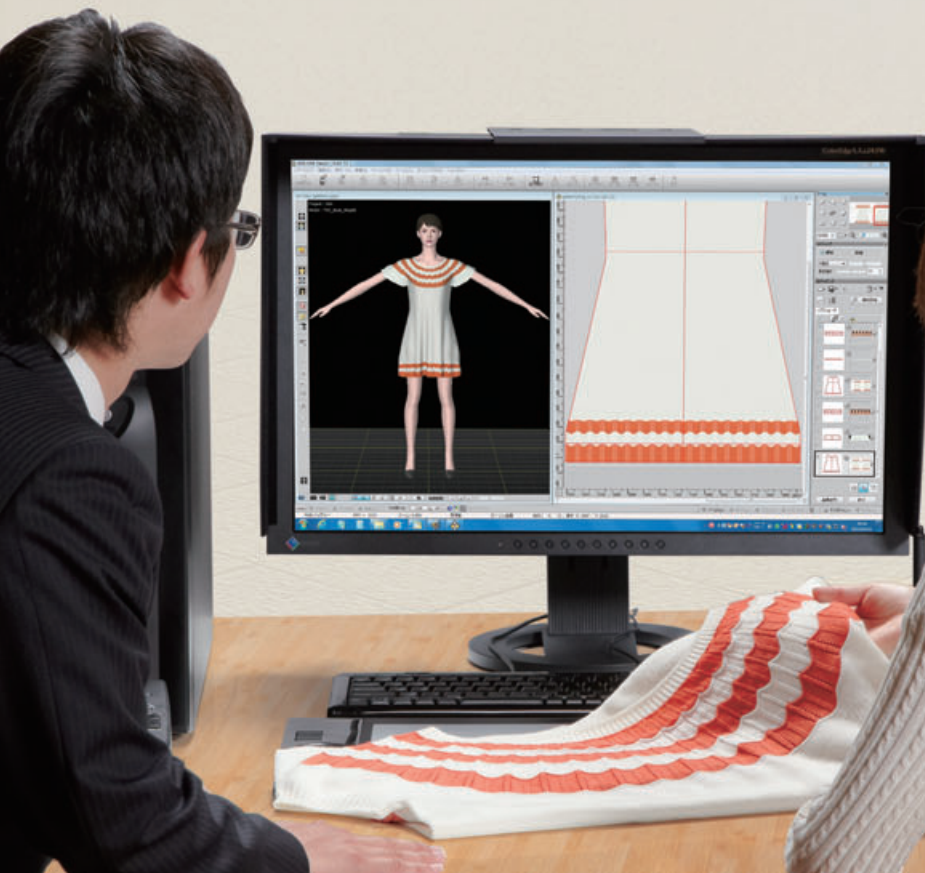


Ever Onward

アニュアルレポート 2012
2012年3月期



Ever Onward 限りなき前進

シマセイキは創業50年を迎えました。
これからもEver Onwardの経営理念のもと
「世界初」の技術で革新を起こしていきます。

1962年、「世界初の全自動手袋編機」を実現すべく、現社長・島正博により設立されたシマセイキ。その後も「最高機能の製品を経済的な価格でお届けする」という企業スピリットのもと、コンピュータ横編機、デザインシステムなど数々の「世界初」、「オンリーワン」の技術・製品で業界をリードしてきました。特に90年代に開発したホールガーメント®横編機は、「産業革命に匹敵する」と評されるほどのインパクトを世界のニット産業に与えました。これからも当社は、技術革新を通じて衣の文化を創造し、ニット・アパレル業界の発展に貢献していきます。



設立当時の様子

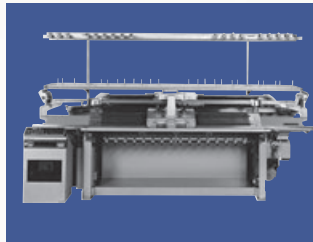


全自動手袋編機

世界で初めてパーツの縫い合わせを不要にした手袋編機。それまで手作業だった生産形態に大変革をもたらしました。



世界初

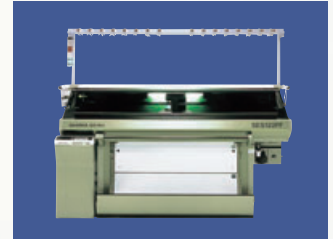


ジャカード・コンピュータ制御横編機SNC

針の動きや糸の選択、生産管理までコンピュータで制御。生産時間を劇的に短縮しました。



世界初



コンピュータ制御横編機SES®シリーズ

高品質、高速、コンパクトを実現した第2世代の横編機。顧客ニーズを先進的に取り込み、ロングセラーとなりました。



ロングセラー



本社ビル竣工



デジタルステッチコントロールシステム (DSCS®)

世界初のデジタル給糸制御装置。ニットの丈の寸法誤差を±1%に制御し、最高水準の品質安定性を提供しています。



世界初



独ライプツヒ展で
ゴールドメダル賞を受賞

編機累積
販売台数

1962

1972

1982

1992

目次

1. 会社紹介/目次
3. 事業紹介
4. 財務ハイライト

5. 社長メッセージ

11. トータルファッションシステムによる革新

15. 事業セグメントの状況

15. 横編機事業
16. デザインシステム関連事業
17. 手袋靴下編機事業
17. その他事業

18. 研究開発活動・知的財産活動

19. コーポレート・ガバナンス

20. 取締役および監査役

21. 財務情報について

22. 企業情報

将来予測記述に関する特記:

このアンニュアルレポートの記載内容のうち、将来の業績に関する計画・戦略・予測などは、経営者が現在入手しうる情報に基づいたものであり、未知のリスクや不確実な要素を含んでおり、実際の業績はこれら予測とは異なる結果となる場合があります。



デザインシステム SDS®-ONE

生産プロセス全体をつなぐオールインワンシステム。柄作成時間を大幅に短縮し、効率的な生産を可能にしました。



世界初



大河内記念生産特賞を受賞

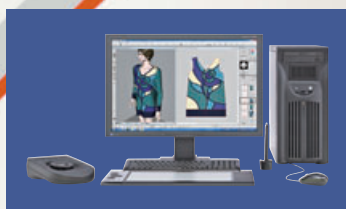


無縫製型コンピュータ横編機 SWG®シリーズ

縫い目のないニットを世界で初めて実現。「産業革命に匹敵する大発明」は、ニット業界の常識を覆しました。



世界初



3Dデザインシステム SDS®-ONE APEX3

リアルな3Dシミュレーションが大幅に進化。現物サンプルにかわるビジュアルコミュニケーションが現実のものに。



世界初



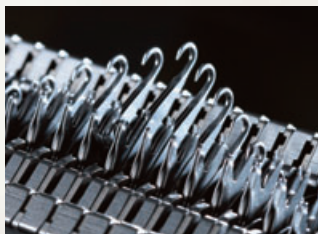
オンライン



ジュビリー賞(英国・テキスタイルインスティテュート)を受賞



知財功労賞経済産業大臣表彰を受賞

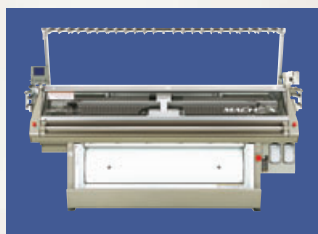


スライドニードル®

過去150年間変わることのなかった編針の機構を刷新。今までにない編成方法や高品質な編地の作成が可能となりました。



世界初



ホールガーメント®横編機 MACH2®X

従来機の2倍以上という驚異的な編成速度を達成。消費地生産のビジネスモデルに必須の存在となっています。



世界初

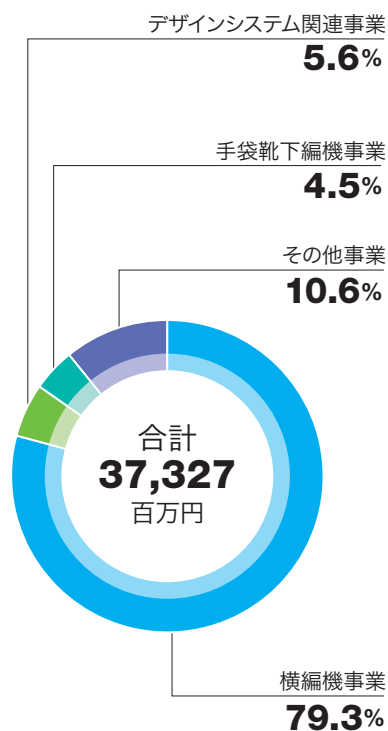


オンライン

2002

2012

事業セグメント紹介



横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社のコア・ビジネスです。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、多彩な柄を表現できるSIG®シリーズ、コストパフォーマンスの高さでユーザーから圧倒的な支持を得るNSSG®、SSR®など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップを展開しています。

デザインシステム関連事業

ニット・アパレル業界のモノづくりを支援するデザインシステムを提供。バーチャルサンプルや3Dシミュレーションなどを駆使したワークフローにより、リードタイムの短縮とコスト削減を実現。異業種への対応も強化しています。また、自動裁断機やプリンティングマシンなどを製造・販売しています。

手袋靴下編機事業

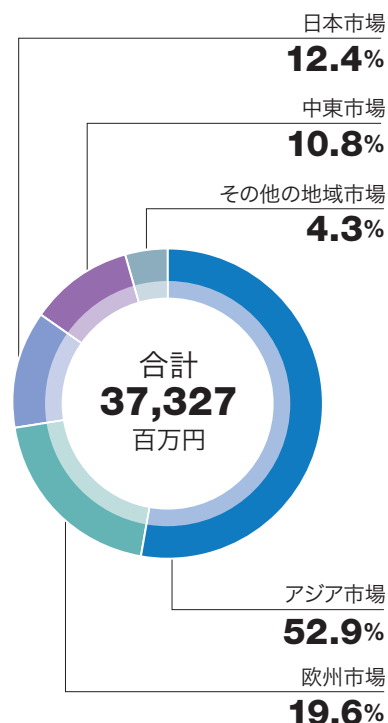
当社技術開発史の原点である手袋編機、靴下編機の製造・販売。ファインゲージ化などの高度技術を応用し、医療用など高付加価値分野への展開を進めています。

その他事業

当社編機・システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア系の紡績、ニット製品の製造・販売などを行っています。

地域別市場紹介

地域別売上高



アジア市場

世界最大のニット生産拠点・中国では、人件費の高騰などを背景に生産の自動化が進んでいます。また、中国周辺諸国(チャイナプラスワン)でもコンピュータ横編機への設備投資が活発化しています。

中東市場

欧州、ロシア向け衣料の生産地であるトルコでは、ニット産業が回復傾向にあります。また、中国製ニット製品との差別化を図るべく、製品の高付加価値化や生産性向上へのニーズが高まっています。

日本市場

日本のニット衣料市場は海外からの輸入比率が高く、国内生産は厳しい状況が続いています。しかし、一部では国内へ生産を戻す動きが出てきています。

欧州市場

多数のファッションブランドを展開するイタリアでは、多品種少量やクイックレスポンスを実現するホールガーメント®横編機の導入が拡大。東欧諸国はボリュームゾーン商品の新たな生産拠点として注目されています。

その他の地域市場

米国は世界最大のニット衣料消費地ですが、中国などからの輸入品が大半を占めています。一方、ブラジルでは内需向けの生産が増加しており、生産性の高いホールガーメント®横編機の需要が拡大しています。

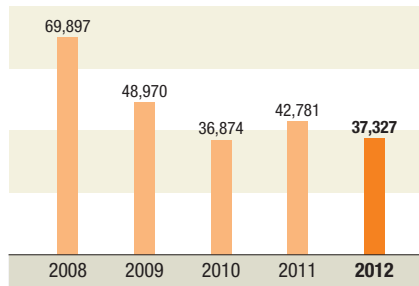
財務ハイライト

株式会社島精機製作所および連結子会社
3月31日に終了した連結会計年度

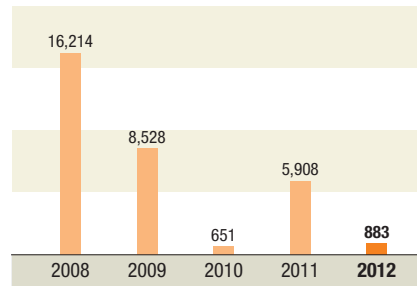
	2012	2011	2010	2009	2008		2012	2012	
会計年度:						増減率 2011/2012	千米ドル	千ユーロ	
		百万円							
売上高	¥37,327	¥42,781	¥36,874	¥48,970	¥69,897	(12.7)%	\$454,155	€339,954	
売上総利益	14,432	19,194	14,139	24,652	35,766	(24.8)	175,593	131,439	
営業利益	883	5,908	651	8,528	16,214	(85.0)	10,743	8,042	
税金等調整前当期純利益(損失)	(537)	1,092	(1,042)	4,057	18,168	-	(6,534)	(4,891)	
当期純利益(損失)	(642)	770	(1,885)	1,766	9,959	-	(7,811)	(5,847)	
会計年度末:						増減率 2011/2012	千米ドル	千ユーロ	
		百万円							
総資産	¥106,863	¥113,951	¥110,063	¥119,778	¥133,746	(6.2)%	\$1,300,195	€973,251	
純資産	84,167	86,591	87,473	91,064	101,647	(2.8)	1,024,054	766,548	
1株当たり情報:						増減率 2011/2012	米ドル	ユーロ	
		円							
当期純利益(損失)	¥(18.60)	¥22.26	¥(54.52)	¥49.88	¥276.13	-	\$(0.23)	€(0.17)	
配当金	40.00	35.00	30.00	40.00	55.00	14.3%	0.49	0.36	
純資産	2,454.07	2,502.27	2,529.67	2,633.55	2,677.47	(1.9)	29.86	22.35	
財務指標:									
		%							
ROA	(0.6)%	0.7%	(1.6)%	1.4%	7.6%				
ROE	(0.8)	0.8	(2.0)	1.9	10.6				
自己資本比率	78.6	75.9	79.5	76.0	73.2				
海外売上高比率	87.6	91.1	91.6	91.0	94.1				

(注) 読者の便宜のため、円建金額を2012年3月31日現在の為替レートである1米ドル=82.19円、1ユーロ=109.80円でそれぞれ換算しています。

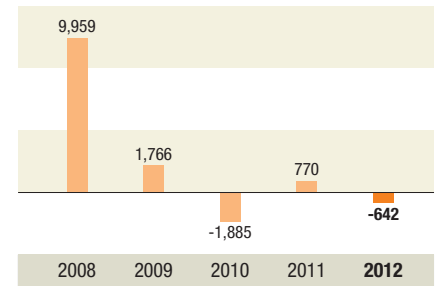
売上高 (百万円)



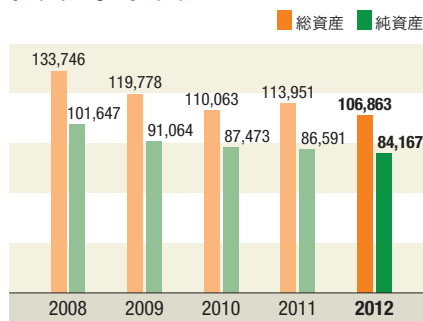
営業利益 (百万円)



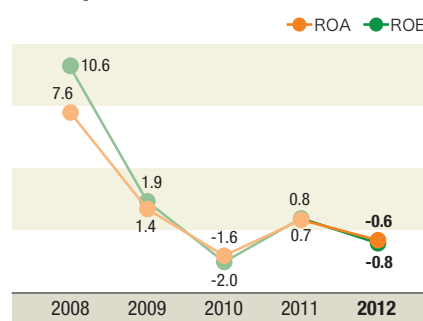
当期純利益 (百万円)



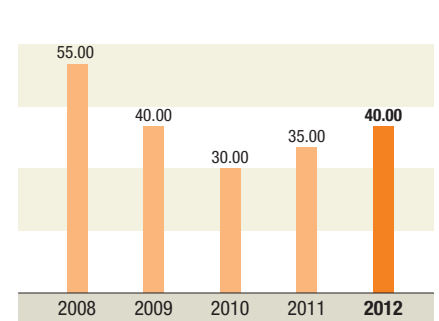
総資産/純資産 (百万円)



ROA/ROE (%)



1株当たり配当金 (円)



大幅な減収・減益となりましたが、 全力で業績回復に努めてまいります。

当期(2011年4月～2012年3月)の当社グループの経営環境は、欧米の衣料消費の低迷から主要ニット生産地域での設備投資が停滞するなど、総じて厳しい状況が続きました。さらに円高や価格競争の激化による販売単価の低下などの影響もあり、当期の業績は売上・利益とも前期を下回る結果となりました。次期も引き続き不透明な事業環境が予想されますが、世界各地の市場ニーズに応じた販売・提案活動を積極的に推進し、業績回復につなげてまいります。

代表取締役社長
島 正博

1962年当社設立。数々の製品の設計開発をリードする。経営者として、当社を業界のリーディングカンパニーに育てる。



当期の市場環境と業績について説明してください。



数々の逆風要因が重なり、売上・利益とも厳しい結果となりました。

当期の世界経済は、米国の雇用回復の遅れや欧州における財政問題の深刻化などから停滞感が強まり、産業界全体で設備投資が落ち込みました。当社も第1四半期は中国など主要市場で売上を伸ばしたものの、第2四半期以降は欧州の経済不安拡大を受け、ユーザーの設備投資意欲が急速に減退しました。さらに円高や競合の激化によって販売価格の引き下げを余儀なくされたことも重なり、当期の連結売上高は373億27百万円(前期比12.7%減)となりました。

営業利益については売上高の減少に加え、販売価格下落による利益率低下の影響もあり、8億83百万円(同85.0%減)の大幅減益となりました。また、円高の進行によって為替差損17億94百万円を計上したことなどにより、当期純損失は6億42百万円(前期は当期純利益7億70百万円)となりました。

このように、業績数値では非常に厳しい結果となった当期でしたが、今後につながる成果もありました。その一つは前期末に発売した戦略機種「SSR[®]」の伸張です。期後半の受注低迷にも関わらず、当期の横編機の販売台数はSSR[®]の大幅な伸びによって前期を上回っており、ターゲットとした中国やその他新興国市場において、顧客ニーズを的確に捉え、シェア拡大とブランド構築を着実に進められたと考えています。

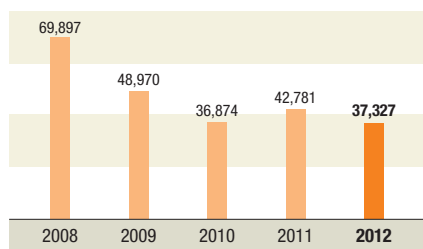
また、将来の柱として注力を続けているホールガーメント[®]横編機、デザインシステム「SDS[®]-ONE APEX3」(以下、「APEX3」)に関しても前期に比べ売上台数を伸ばしました。特にテキスタイル、丸編み、レース、刺繍など、横編みニット業界以外の業種にもAPEX3の導入を拡大できたことは大きな成果と捉えています。

次期以降もこうした販売戦略を積極的に推し進め、業績回復に向け全力で取り組んでいく所存です。

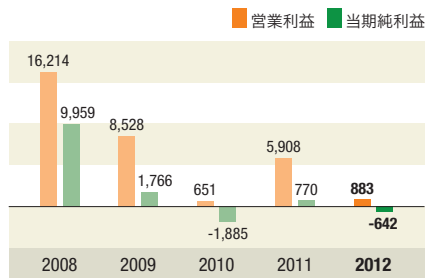


SDS[®]-ONE APEX3

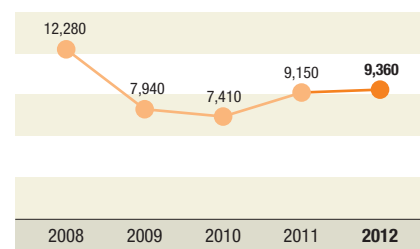
売上高 (百万円)



営業利益/当期純利益 (百万円)



横編機販売台数 (台)





バングラデシュの展示会



ブラジルでの個展

Q 世界のニット産業の動向を説明してください。

A 中国一極集中から多様化へと構造変化が起きています。

世界のニット製品の生産の中心は、依然として中国です。当社の当期売上を見ても、第2四半期以降に落ち込んだとはいえ、中国・香港市場が全体の3分の1以上を占めています。しかし、経済成長と少子化を背景に、人件費高騰や若年労働者不足が進んでいることから、「世界の工場」としての中国のポジションは少しずつ低下してきています。ここ数年、欧米の主要アパレル企業は中国周辺国、いわゆる「チャイナプラスワン」をはじめ、他地域への生産シフトを加速しており、従来の「中国一極集中」の構造は転換期を迎えていると言えます。

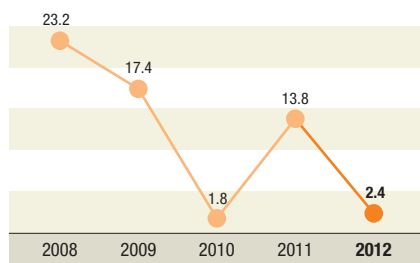
その一方で、中国国内では経済発展に伴う衣料需要の拡大を受け、上海近郊などのSPA型（自社で企画から販売まで一貫して行う）の内需向けニットメーカーが、積極的な設備投資を始めています。当社においても、内需型メーカーの今後のポテンシャルは非常に高いと見ています。

また、欧州、ロシア向けの生産拠点であるトルコでは、中国からの生産回帰によってニット産業が再活性化しており、中国製ニット製品との差別化を図るべく、生産の高効率化と製品の高付加価値化を実現するコンピュータ横編機への更新需要がさらに高まっています。

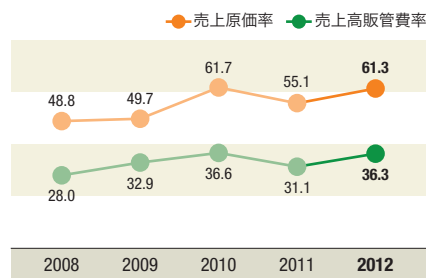
その他の新興国では、中国からの生産シフトが進む中で市場が急成長しているカンボジアやバングラデシュ、インドネシアが注目されています。また、欧州アパレルの新たな生産地として、ボリュームゾーン商品の生産を拡大している東欧諸国もコンピュータ横編機の有望市場であると考えています。このほか、経済成長に伴って内需向けのニット生産が拡大しているブラジルも新市場として期待されます。

先進国市場については、イタリアを中心とする欧州のアパレルメーカーが「消費地型生産」という新たなビジネススタイルの確立を目指しており、多品種少量生産やクイックレスポンスが可能なホールガーメント®横編機への潜在ニーズもますます高まっていくと見ています。

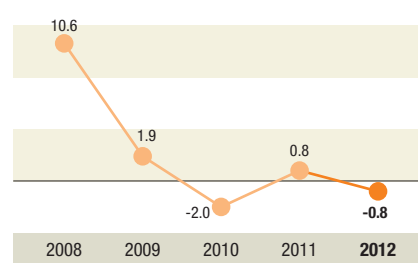
売上高営業利益率 (%)



売上原価率/売上高販管費率 (%)



ROE (%)



Q 当期の主な取り組みを説明してください。

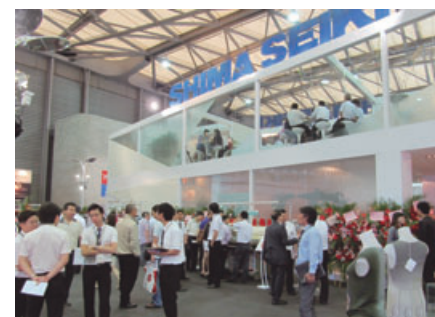
A 世界各地でそれぞれのニーズ・状況に対応した提案を進めました。

アパレル産業が構造変化の中にある中国市場では、SSR®の拡販に注力するとともに、2011年6月には展示会「上海テックス」にも出展しました。同展示会では、当社製品の高効率性や安定性、耐久性はもちろん、優れたデザイン提案力、サポート力など総合力の高さを訴求し、台頭する中国横編機メーカーに対する当社の圧倒的な優位性をアピールしました。

新興国市場の中でも中国に次ぐ重要市場であるトルコでは、コンピュータ横編機の置き換えニーズにきめ細かく対応し、生産効率が高くコストパフォーマンスに優れた「NSSG®」を中心に販売を展開しました。また、市場が拡大しているカンボジアやバングラデシュ、東欧、さらに韓国、ロシアなどでも積極的に営業活動を推進しました。

また2011年9月には、バルセロナで開催された業界最大の展示会「ITMA展」に出展し、「Solutions for Diversity(多様性へのソリューション)」をテーマに、各国・地域のニーズに応じた提案を行いました。特にホールガーメント®横編機とAPEX3の連携による革新的な提案は、多くの顧客から高評価を得ることができました。欧州の経済状況悪化から、当期の受注には結び付きませんでした。この提案が潜在需要を喚起し、次期以降の売上につながっていくと考えています。

デザインシステム関連事業では、主力製品であるAPEX3の拡販に注力しました。当期は日本国内でも積極的に個展を開催し、テキスタイルやプリント、丸編みニット業界などで売上を拡大できました。また、自動裁断機P-CAM®についても個展など生産地に密着した販売活動を展開した結果、売上台数を倍増させただけでなく、自動車内装部品や家具業界などの異業種にも販路を広げました。

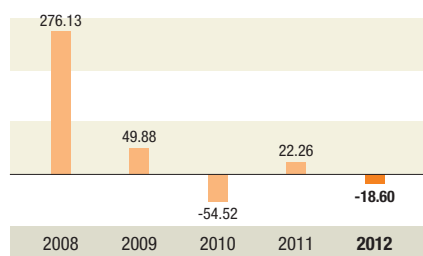


上海テックス 2011

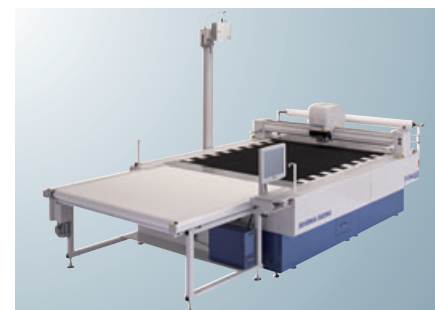
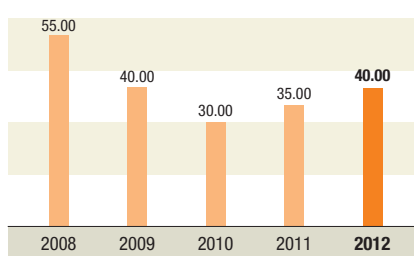


ITMA 2011

1株当たり当期純利益 (円)



1株当たり配当金 (円)



自動裁断機P-CAM®



ホールガーメント®横編機



Q 今後の成長戦略について説明してください。

A ホールガーメント®横編機とAPEX3を核に、新たな成長を目指します。

当社の今後の成長戦略において中心となるのは、ホールガーメント®横編機の販売拡大です。ホールガーメント®横編機が提供するメリットは、ニット製品製造プロセスのボトルネックとなっている「リンキング(縫製)」工程をなくすことで、労働集約型産業からの脱皮を可能にすることです。現在、中国などでは人件費の高騰やワーカー不足が問題となっています。こうした問題を解決できるホールガーメント®横編機への潜在ニーズは、先進国だけでなく中国をはじめとする新興国でも今後ますます高まると見込んでいます。

また、ホールガーメント®横編機を使えば、縫い目のないニット製品はもちろん、一着の中で編み目の大きさが異なる衣料など、今まで存在しなかった新しいニット製品を作り出すことができます。商品の価値・魅力の向上に加え、従来はコスト面で難しかった多品種少量生産も可能となります。このように、長期的に見れば世界各地で需要が高まると考えられることから、当社は当期、ホールガーメント®横編機の専用工場を新設し、高効率の生産体制を整えました。

ホールガーメント®横編機と並んで注力していくのが、デザインシステムAPEX3です。これは衣料製造のもう一つのボトルネックである「現物サンプル作成」の問題を解消する製品です(p.11参照)。APEX3が作り出す高品質なバーチャルサンプルを活用することで、企画プロセスが大幅に短期化・低コスト化でき、創造性の高い商品企画が可能になります。さらに、ホールガーメント®横編機との連携を強化させることで、アパレルビジネスを根底から変え、真に市場ニーズに密着したモノづくりが実現します。

また、APEX3のニット産業以外の業種への展開も進めていきます。丸編みニットやテキスタイル、プリント、タオル、刺繍シミュレーションなど、幅広いアパレル産業分野での企画に活用される製品として積極的に販売を推し進め、横編機と並ぶ新たな柱事業として確立していきたいと考えています。

Q 当期の配当について説明してください。

A 記念配当5円を加え、年間配当金は40円といたしました。



当社は株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つに位置付けています。当期の期末配当金は当初の予定通り1株につき17円50銭としました。また、2012年2月に創立50年の節目を迎えましたので、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝の意を込めて、創立50周年記念配当として1株につき5円を増配しました。これらに中間配当金17円50銭を加え、年

間配当金は40円といたしました。

厳しい事業環境が続いていますが、今後とも安定配当の継続と株主価値の向上に努めてまいります。



Q 次期の戦略と業績見通しについて説明してください。

A 各国・地域に応じた提案を強化し、業績回復を目指します。

次期も、世界各地の市場動向を的確に捉えた事業展開をさらに進めていきます。

先進国市場に向けては、ホールガーメント®横編機の豊富なラインアップで攻勢をかけ、需要の掘り起こしを一層強化します。一方、当期にSSR®でブランド力を高めた新興国市場については、それぞれの現地法人や販売店と連携した営業強化、技術・サービス支援の拡充により、各市場でのポジションを着実に確立していきます。またデザインシステム関連事業については、ニット業界以外の市場も視野に入れながら、APEX3を核とした高付加価値ビジネスへの提案を拡大していきます。

当期の利益面に大きな影響を与えた円高(ドル安・ユーロ安)への対策としては、為替予約や債権流動化によるリスクヘッジ、海外からの部品調達比率向上などの施策により、引き続き為替変動の影響を最小限にとどめるよう努めます。

これらの戦略を推進することで、次期の連結業績は売上高430億円、営業利益30億円、当期純利益20億円を計画しています(1ドル81円、1ユーロ107円を想定)。

経営環境は依然として先行き不透明な状況が続くと予想されますが、各国、各地域の市況とニーズを踏まえた提案と最適な製品・サービスの提供によって業績を回復し、全世界のアパレル産業の活性化を目指していきます。



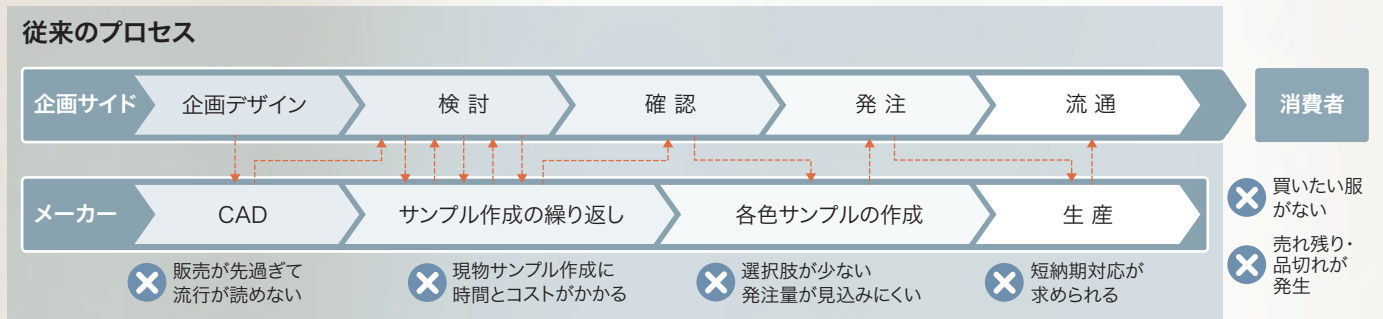
新興国における技術講習

代表取締役社長

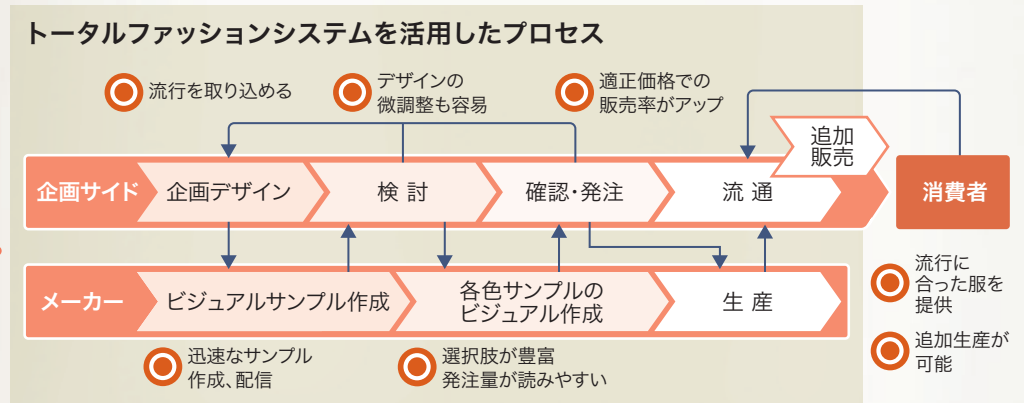
島 正 博

アパレル産業を大きく変革する トータルファッションシステム

アパレル製品の生産プロセスにおいてボトルネックとなっているのが、多大な時間とコストを要する「現物サンプル」の制作です。シマセイキは、デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」(以下、「APEX3」)によってこの問題を根本的に解決し、さらにコンピュータ横編機などと連携させた「トータルファッションシステム」の提案によって、アパレル業界に革新をもたらそうとしています。



リードタイムの短縮によりトレンドを捉えた企画が可能に



トータルファッションシステムのメリット

高品質なバーチャルサンプルを短時間で作成

「APEX3」はデザイン仕様書の寸法数値を入力するだけで、製品の立体的なイメージを自動的に作成。3Dモデルにデザインした柄や配色を着せ付けることで、デジタルデータのサンプルが短時間で生み出されます。

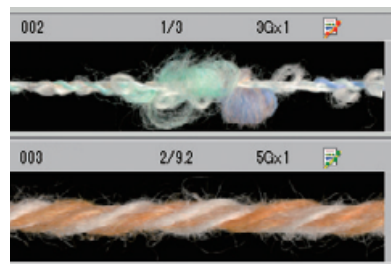
製品の仕上がりや装着イメージを画面上で確認できる「バーチャルサンプル」は、修正や作り直しも極めて簡単。現物サンプルのように原材料を使わずに、納得のいくまで企画・デザインを検討できます。企画プロセスに要する時間が劇的に短縮するため、最新のトレンドや市場ニーズにもタイムリーに応えられます。



質感をリアルに伝えるサンプルがコミュニケーションを円滑に

「APEX3」が生み出すバーチャルサンプルは再現性も優れています。搭載データベースに収録した本物の糸の高解像度データを使って、画面上でニットとして編み上げるため、実物と遜色のないリアルな質感や風合いを表現。編地の表情や糸の起毛感まで伝えられます。データベースに最新の素材を取り込んで使うことも可能です。

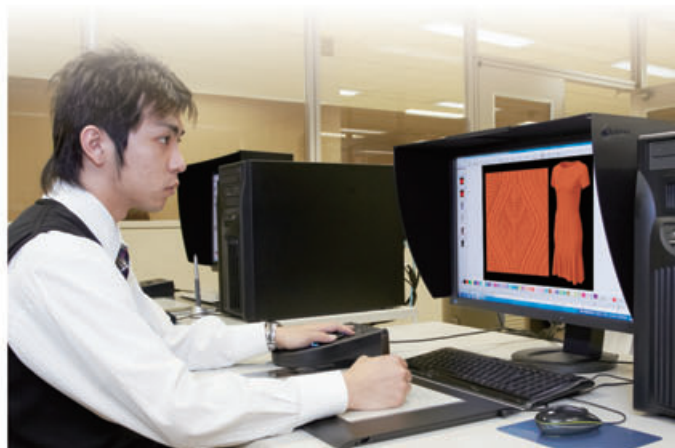
また、デジタルデータなので情報のやりとりも非常に簡単。ネットワーク経由でのリアルタイムなデザイン確認や離れた地域へのプレゼンテーションなど、高品質なバーチャルサンプルにより、スムーズなコミュニケーションが可能となります。



多様なシミュレーションで企画の幅を広げる

シミュレーションの容易さもバーチャルサンプルの大きなメリットです。データベースには1,000種類以上の編地柄を収録。世界共通のカラーガイドであるPANTONE®も搭載しており、色・柄を自由に選んで配置、編集することで、製品全体のイメージを確認しながらさまざまなシミュレーションが行えます。

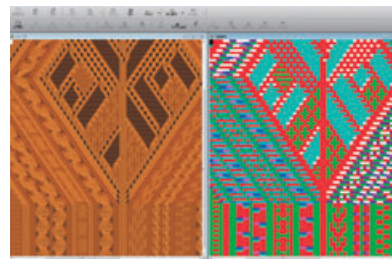
スタイルやシルエット、異なるゲージによる風合いの違いなども、画面上で簡単にシミュレーションが可能。現物サンプルではできなかった多種多様なアイデアを綿密に比較検討することで、商品企画力・提案力を飛躍的に高めることができます。



デザインと製造のプロセスがスムーズに連動

「APEX3」のデザインデータには当社編機用の編成データが含まれています。そのため、データをニットCADソフトに転送するだけで、自動的にプログラミングが行え、タイムロスのない商品づくりを実現できます。

また、市場反応に合わせた色・柄・サイズの素早い変更や、追加オーダーなどのきめ細かな対応が可能になります。それぞれの市場で、今求められている商品をタイムリーに企画、提供していく。それが当社の提案する「トータルファッションシステム」です。



ホールガーメント®横編機との連携でビジネスを革新

トータルファッションシステムにおいて最も効果的と言えるのが「APEX3」と「ホールガーメント®横編機」のコンビネーション。身頃や袖などのリンクング工程が不要なホールガーメント®横編機と「APEX3」が連携することで、リードタイムを極限まで短縮した生産プロセスが実現します。

これにより先進国のニット産業も、従来のような新興国における労働集約型の大量生産ではなく、消費地により近い場所で、各地域のトレンドを取り入れた高付加価値の商品を、多品種少量・クイックレスポンスで提供していくことができます。



ホールガーメント®横編機専用の新工場が完成



中国の件費高騰や若年労働力の不足、原材料高などを背景に、ホールガーメント®横編機へのニーズが拡大すると予想されます。当社はそうした今後の需要に対応すべく、本社敷地内にホールガーメント®横編機専用の組立工場を新設し、2012年2月から稼働させました。



新工場お披露目を兼ねた展示会。150社以上のお客様に「トータルファッションシステム」をアピールしました。

オリジナルブランド「サマンドール」の展開を開始

当社の提唱する「トータルファッションシステム」を実際にビジネスモデルとして提示していくことを目的に、2012年3月、当社初のオリジナルニットブランド「SAMAND'OR(サマンドール)」の販売を開始しました。今後、同ブランドを通して、ニットの魅力を最大限に引き出した、今までにない新しい衣料を市場に提供していきます。

この発売に合わせ、日本橋高島屋内に「SAMAND'OR」の直営店をオープン。同店では、店頭商品の販売だけでなくオーダーメイドにも対応しており、デザインシステムと横編機の連携によるアパレルビジネスの革新を自ら実践していきます。



デザインシステムがアパレル産業を変える

現物サンプルの作成は、すべてのアパレル産業に共通のボトルネックですが、APEX3が生み出す高品質なバーチャルサンプルを活用することで、ニット産業だけでなくアパレル・ファッション業界のあらゆる分野に変革をもたらすことができます。実際にテキスタイルやプリントなど、幅広い産業分野でAPEX3の導入が進んでいます。



当期の概況と次期の見通し

当社グループは、4つの事業セグメントで構成されています。このうち、コンピュータ横編機を開発・製造・販売する「横編機事業」が売上高の約8割を占めるコア・ビジネスです。

横編機事業

当期の概況

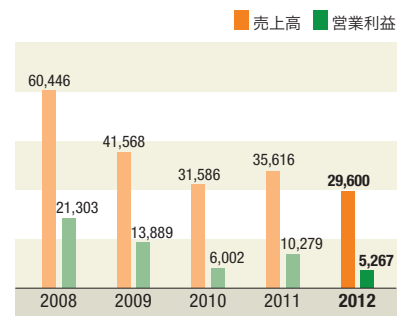
主力市場である中国・香港では、第1四半期には生産性の高いコンピュータ横編機の需要が拡大し、生産効率とコストパフォーマンスに優れた「SSR®」を中心に売上が伸びました。しかし、欧州財政金融危機の顕在化を受け、第2四半期に入ると欧米アパレルからのニットの発注量が大幅に減少しました。先行き不透明感の広がりや金融引き締め政策の影響もあって、輸出主導のニットメーカーを中心に設備投資が急速に減退し、例年であればユーザーの設備投資が活発化する第4四半期にかけても回復が見られませんでした。また、欧州やロシアへのニット供給拠点である中東のトルコや、アジア諸国などの新興ニット生産地域においても、こうした流れを受けて第2四半期以降は設備投資が落ち込みました。

欧州のイタリアでは、消費地型生産の核となるホールガーメント®横編機を中心に第1四半期は販売が好調でしたが、他の地域と同様、第2四半期以降は景気低迷の影響により減速しました。一方、国内市場は全体に占める割合は小さいものの、中国からの生産シフトの動きが一部に見られたことで、前年に比べて売上を伸ばしました。

これらの結果、横編機事業の売上高は296億円(前期比16.9%減)となりました。



横編機事業 (百万円)



次期の見通し

中国・香港市場では、当社の高度な技術力と培ったノウハウを活用して、生産プロセスの効率化と製品の高付加価値化を可能にするソリューションを提供することで、近年台頭してきた中国横編機メーカーとの総合力の差を鮮明にし、シェア拡大を図っていきます。また、引き続き生産設備の需要増加が期待される中国周辺諸国については、販売網の拡充と技術サポート体制の強化によって市場への浸透を進めます。中東のトルコでは、ロシア市場や内需向けの衣料生産が好調であり、品質の向上やデザインの多様性などの顧客ニーズに即した提案を展開することで、コンピュータ横編機のさらなる拡販に努めていきます。欧州に関しては、次期も景気の減速懸念が続くと予想されますが、高いブランド力を持つイタリアを中心に、上質でファッション性の高いニット製品の編成が可能なホールガーメント®横編機を柱に、売上拡大に注力します。

また国内市場においては、きめ細かい技術サービスとホールガーメント®横編機を中心とした新たなビジネスモデルの提案を強化していきます。

これらの施策を実行することで、横編機事業における次期の売上高は342億円(前期比15.5%増)を見込んでいます。



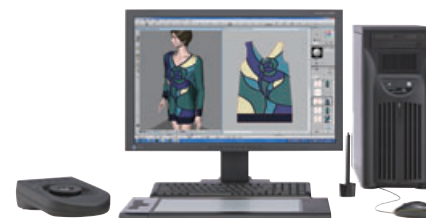
デザインシステム関連事業

当期の概況

デザインシステム「SDS[®]-ONE APEX3」は、バーチャルサンプルを用いた革新的なビジネス提案を積極的に展開したことで、横編みニット業界だけでなく、テキスタイルやプリント、丸編みニット業界などでも売上を伸ばすことができました。

自動裁断機「P-CAM[®]」については、個展の開催など生産地に密着した営業活動を行いました。その結果、特に国内で売上が増加し、自動車内装部品や家具業界などの異業種にも販路を広げました。

これらにより、デザインシステム関連事業の売上高は、20億99百万円(前期比25.9%増)と大きく伸張しました。

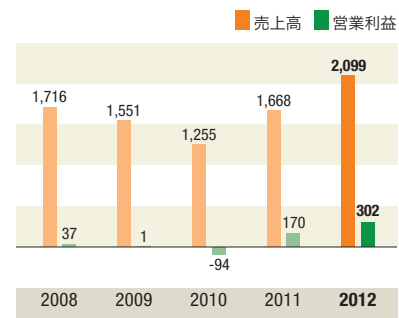


次期の見通し

次期についても、「SDS[®]-ONE APEX3」を活用することでリードタイムを飛躍的に短縮するモノづくりを提案していくほか、対象ユーザーを異業種にまで広げ、新規需要を開拓していきます。また、国内市場において好調な売れ行きを継続している自動裁断機「P-CAM[®]」についても、きめ細かい営業展開により、さらなる販売拡大を図ります。

こうした取り組みを通し、次期のデザインシステム関連事業の売上高は32億円(前期比52.5%増)を見込んでいます。

デザインシステム関連事業 (百万円)



TOPICS

世界最大の繊維機器展「ITMA展」に出展

各国・地域のニーズに応じた多様なソリューションを提案

2011年9月、当社はスペイン・バルセロナで開催された業界展示会「ITMA展」に出展しました。衣料品生産において中国一極集中の構造が変わる中、同展示会では「Solutions for Diversity(多様性へのソリューション)」をテーマに、地域の特性や顧客ニーズに対応した多様な提案を展開しました。

特に注力したのは、欧州などの先進国アパレル産業への革新提案です。SDS[®]-ONE APEX3のコーナーでは、熟練技術者のノウハウを織り込んだ新開発ソフトやバーチャルサンプルの制作を実演。さらに、SDS[®]-ONE APEX3とホールガーメント[®]横編機を連動させた「トータルファッションシステム」により、高付加価値商品を高効率で生産する消費地型ビジネスの方向性を提示しました。





手袋靴下編機事業

当期の概況

手袋靴下編機事業においては、中国や韓国製の低価格機との競争が激化し、販売価格の引き下げを余儀なくされました。しかし、アジアの新興国で耐久性や最終製品の品質が高く評価され、前期に引き続き、設備投資が進みました。その結果、手袋靴下編機事業の売上高は16億61百万円(前期比8.5%増)と拡大しました。

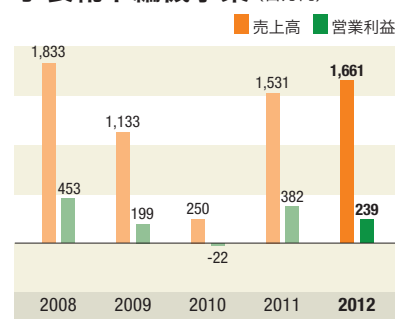


次期の見通し

次期も依然として厳しい競争環境が続くと予想されますが、アジア新興国を中心に堅調な需要が見込まれており、当社製品の性能や耐久性、高生産性を訴求し、付加価値の高い商品開発をサポートすることで売上を確保していきます。

次期の手袋靴下編機事業の売上高は16億円(前期比3.7%減)を見込んでいます。

手袋靴下編機事業 (百万円)



その他事業

当期の概況

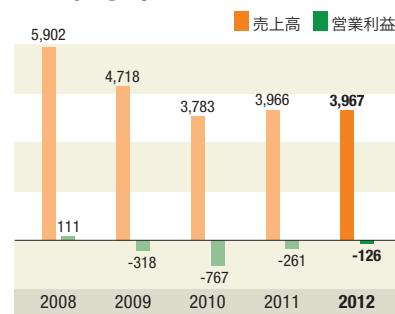
横編機事業の売上減に伴って、メンテナンス部品の販売や修理・保守事業の売上高は減少しました。また、カシミア糸などの紡績事業も前期を下回る結果となりました。一方、日本と米国におけるニット製品販売事業では、ホールガーメント®製品の販売活動などを強化したことで売上が拡大しました。その他事業全体の売上高は39億67百万円(前期比0.0%増)と大きな変動はありませんでした。



次期の見通し

その他事業の次期の売上高は、40億円(前期比0.8%増)を見込んでいます。

その他事業 (百万円)



研究開発活動

全社一体の開発体制で顧客ニーズに対応

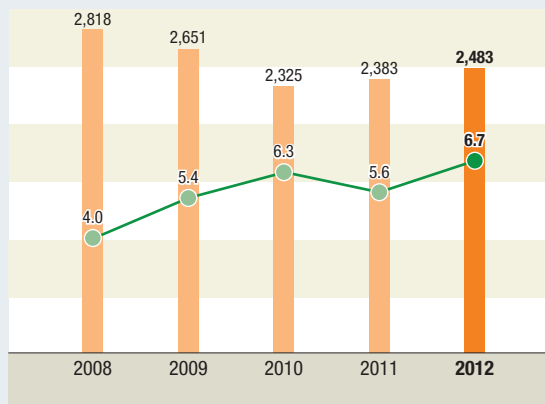
当社は創業以来、「ないものは自ら創りだす」という方針のもと、創造性に基づく独自の技術開発を目指し、ハードウェア、ソフトウェアのすべてを自社で開発してきました。

技術開発部門は、編機や裁断機などの設計や制御装置の開発を行う「メカトロ開発部」とデザインシステムの開発を行う「グラフィックシステム開発部」で構成され、基板設計からソフトウェア開発まで一貫した思想で取り組んでいます。また、生産部門・営業部門と連携し、顧客ニーズに沿った迅速な製品開発が行える体制を構築しています。今年度は、4年に一度開催される「ITMA展」において多数の新機種を発表し、大きな成果を挙げました。

研究開発投資は毎年、売上高の5%程度を目安としており、当期の研究開発費は24億円、売上高研究開発費率は6.7%でした。引き続き、魅力ある製品の創出に向け、積極的な研究開発活動を展開していきます。

研究開発費 (百万円)

● 売上高研究開発費率 (%)



知的財産活動

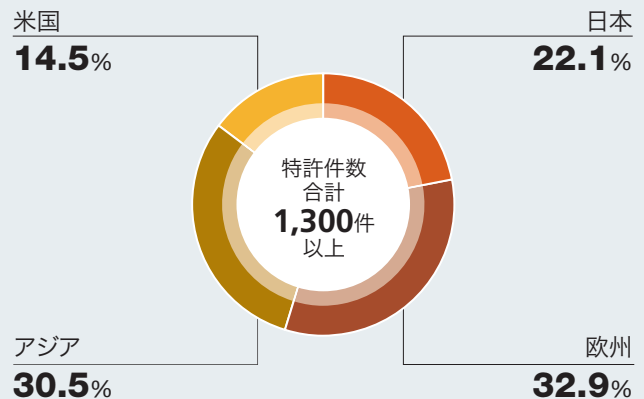
研究開発成果を保護・活用すべく戦略的な取り組みを推進

当社は開発本部内に知的財産部を設け、成長力の源泉である研究開発の成果を知的財産権として保護し、活用する体制を整えています。また、これまでに蓄積した技術やノウハウはすべてデータベース化し、社内でも共有しています。

現在、当社が保有する国内外の特許は1,300件以上にのぼり、特に近年はアジアにおける知的財産権の保護を強化しています。当社では「横編機の技術特許」だけでなく、「ニットの編成技術」や「デザイン技術」など、幅広い技術分野において特許の取得を推進しています。当社製品やノウハウを利用するユーザーの商品を知的財産権で保護し、差別化していくことも重要な知的財産戦略であると考えています。

今後も知的財産権の活用をさらに強化し、周辺技術などに関しても特許を出願していく方針です。

地域別特許比率(2011年)



欧州とアジアについては下記の国または地域のみ含んでいます。
 欧州：ドイツ、英国、フランス、イタリア、スペイン
 アジア：中国、韓国、台湾

基本方針と体制

当社グループは、経営の効率化と健全化、透明性の向上を図り、ステークホルダーズを重視した経営を行うため、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題と位置付けています。

当社は監査役設置会社であり、取締役会制度と監査役会制度の機能を十分に発揮させるとともに、監査役、内部監査室、会計監査人がそれぞれの独立性を維持しながらも連携して監査を実施することで、適正で効果的なコーポレート・ガバナンスを実行する体制を構築しています。

ガバナンス体制

(取締役・取締役会)

取締役10名で構成される取締役会を月1回以上開催し、業務執行の監督にあっています。当期は19回の実行を行いました。

(監査役・監査役会)

監査役は、社外監査役2名を含む4名からなり、取締役の職務執行と経営状況の監査にあっています。社外監査役は弁護士、税理士としての専門的見地から取締役業務の牽制を行っています。当期は13回の実行を行いました。

(内部監査室)

内部監査室を設置し、業務全般の内部監査のほか、コンプライアンス状況やリスク管理状況、財務報告を含めた内部統制監査を年間監査計画に基づき実施しています。

(会計監査)

会計監査人として大手前監査法人を選任し、定期的に会計監査と内部統制監査を受けることで、監査の実効性を高めています。

内部統制システム

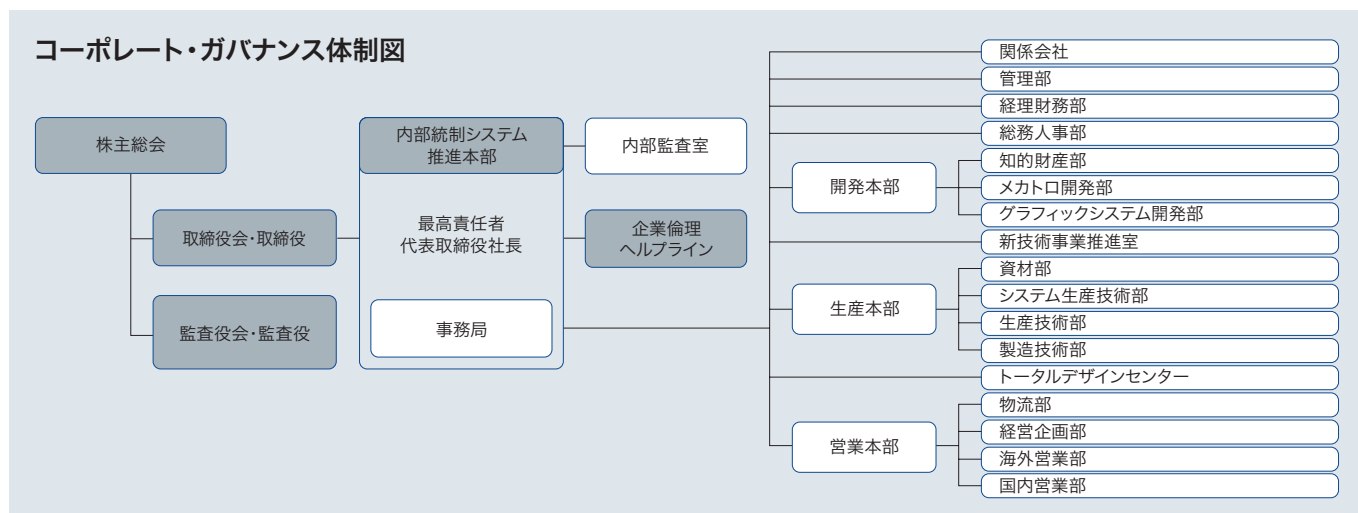
当社は内部統制システムの構築・運用を重要な要件であると考えており、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を策定し、充実に努めています。また、内部統制システム推進本部に加え、コンプライアンス委員会、リスク管理委員会、情報セキュリティ委員会を設けて、内部統制の強化に取り組んでいます。

「財務報告に係る内部統制」についても、財務報告の信頼性を確保するため、公正で公平なディスクロージャーを推進する体制を整えています。

コンプライアンスへの取り組み

当社は「シマセイキグループ行動基準」の総則に「法令・企業倫理の遵守」を掲げ、関係法令の遵守や社会規範の尊重に努めています。その実現のため、コンプライアンス委員会を設置して定期的にコンプライアンスの状況をチェックするとともに、研修などを通じて計画的にコンプライアンスの定着を図っています。

また、法令違反や人権侵害などの報告・通報窓口として、社内外に「企業倫理ヘルプライン」を設けています。



○ 会社紹介/目次
○ 事業紹介
○ 財務ハイライト

○ 社長メッセージ

○ トータルファッション
システムによる革新

○ 事業セグメントの状況
○ 研究開発活動・知的財産活動

○ コーポレート・ガバナンス
○ 取締役および監査役

○ 財務情報について
○ 企業情報



代表取締役社長

島 正博
営業本部長

取締役副社長

島 三博
経営企画部、トータルデザインセンター担当兼営業本部副本部長

常務取締役

和田 隆
生産技術部、製造技術部、システム生産技術部担当兼生産本部長

有北 礼治

新技術事業推進室担当兼開発本部長

取締役

梅田 郁人
島精機(香港)有限公司CEO

藤田 紀
総務人事部長

中嶋 利夫
国内営業部、物流部担当兼海外営業部長

南木 隆
管理部担当兼経理財務部長

西谷 泰和
資材部長

西川 清方
営業本部付部長

監査役

植田 光紀
常勤監査役

田中 雅夫
常勤監査役

的場 悠紀
監査役

新川 大祐
監査役



- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① 有北 礼治 | ⑥ 梅田 郁人 | ⑪ 新川 大祐 |
| ② 島 三博 | ⑦ 藤田 紀 | ⑫ 田中 雅夫 |
| ③ 島 正博 | ⑧ 西谷 泰和 | ⑬ 植田 光紀 |
| ④ 和田 隆 | ⑨ 南木 隆 | ⑭ 的場 悠紀 |
| ⑤ 中嶋 利夫 | ⑩ 西川 清方 | |

財務情報について

財務に関する次の情報は、有価証券報告書をご参照ください。

- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 連結包括利益計算書
- 連結株主資本等変動計算書
- 連結キャッシュ・フロー計算書
- 連結財務諸表注記

第51期 有価証券報告書

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/library/2012.html>

※ 財務数値について

この日本語版Annualレポートは、海外の読者向けに作成された英語版Annualレポートを翻訳したものです。そのため、有価証券報告書の財務数値と異なる箇所があります。

企業情報

会社概要 (2012年3月31日現在)

商号 株式会社島精機製作所
 本社 〒641-8511 和歌山市坂田85番地
 Tel: (073)471-0511(代) Fax: (073)474-8267
 創立 1962年2月4日
 資本金 148億5,980万円
 従業員数 1,727名(連結)
 1,190名(単体)
 U R L 企業トップページ <http://www.shimaseiki.co.jp>
 IR・投資家情報 <http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>



連結子会社 株式会社シマファインプレス SHIMA SEIKI EUROPE LTD.
 ティーエスエム工業株式会社 SHIMA SEIKI U.S.A. INC.
 株式会社海南精密 島精機(香港)有限公司(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)
 東洋紡糸工業株式会社 SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.
 島精榮(上海)貿易有限公司(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)
 SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.
 東莞島精貿易有限公司(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)
 SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.

投資家情報 (2012年3月31日現在)

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 発行可能株式総数 142,000,000株
 発行済株式総数 36,600,000株
 株主数 19,405名
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
 大阪証券取引所市場第一部
 監査法人 大手前監査法人

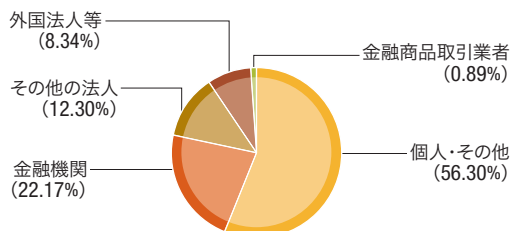
主要大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
和島興産株式会社	3,450	10.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,597	4.67
株式会社紀陽銀行	1,310	3.83
島 正博	1,070	3.13
島 三博	1,060	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合同会社和光	765	2.23
シマセイキ社員持株会	762	2.23
株式会社池田泉州銀行	700	2.04
後藤 ひろみ	697	2.04

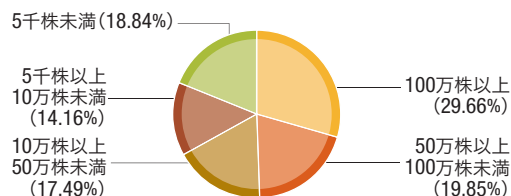
(注) 1. 当社は、自己株式2,370千株(6.47%)を保有していますが、上記大株主から除外しています。
 持株比率は、自己株式を控除して算出しています。
 2. 株数は、千株未満を切捨てて表示しています。

株式分布

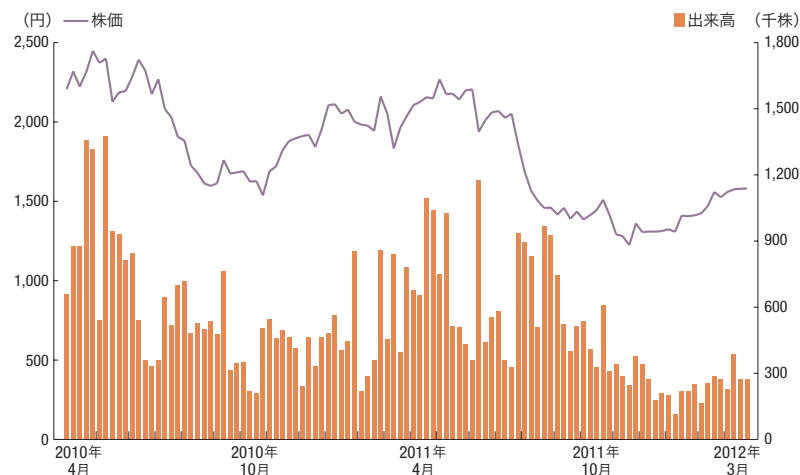
所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移(大阪証券取引所)



IRサイトのご紹介

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>



当社のIR情報をホームページに掲載しています。
業績などの最新情報はもちろん、よくある質問・回答や
用語解説など役立つコンテンツをご用意しています。
ぜひ一度、ご覧ください。



表紙について

表紙では、デザインシステム(左下)、横編機(左上)を通じてアパレル業界の商品企画から販売までトータルにサポートする、当社のビジネスを表現しています。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

Tel: (073)471-0511(代) Fax: (073)474-8267

ir@shimaseiki.co.jp

<http://www.shimaseiki.co.jp>

DSCS, MACH2, NSSG, P-CAM, SDS, SES, SIG, SSR, SWG, スライドニードルおよびホールガーメントは株式会社島精機製作所の登録商標です。

PANTONEは米国パントン社の登録商標です。